2020 年度自治体SDGsモデル事業提案概要

自治体SDGsモデル事業名：協働によるまちづくりの進化と地域新電力	提案者名：静岡県掛川市

取組内容の概要：再生可能エネルギーに拘った電力供給による地域の脱炭素化と、人口減少及び少子高齢化に起因する地域課題を解決するため、小売電気事業の利益等を用いて産学官民連携により、地域活性化や地域循環共生圏の構築に寄与する。

【報徳の精神】
- 道徳と経済の調和
- 分度（適量・適度）
- 推譲（譲る心を持つこと）の考え方

≒SDGs

＜事業イメージ＞

収益還元等による地域課題解決
（市民生活の質の向上）

コミュニティの活性化による
多様な市民の活躍

協働によるまちづくりの進化と地域新電力

電力事業で収益を確保しつつ、収益をまちに再投資し、地域課題解決を図る「シュタットベルケ」を設置し、持続可能なまちづくりに寄与する。

経済

課題：地域内経済循環、産業の活性化

電力事業を核とする地域内経済循環の実施
- 地域課題解決事業の実施
  （利益を地域に還元する）
- イノベーションの場づくり
  （地域のリソースをつなぐ）

社会

課題：協働による高度なコミュニティ形成

報徳の精神や生涯学習都市宣言の理念に基づくまちづくり
- 子育て世代や外国人等がまちづくりに参加しやすい仕組みづくり
- 地域の高齢者の足の確保やごみ出し等の課題解決

環境

課題：域内資源の有効活用による温暖化防止

地域循環共生圏の実現
- 市民協働発電（再生可能エネルギー使用）
- ごみ発電
- 公共施設の RE100 化
- おむつのリサイクル

環境負荷の少ない
まちづくり推進

地産地消による地域内循環による活性化
再エネ・省エネ関連需要の増加

市民の環境意識向上
関連活動の担い手増加

市民の環境意識・生活の質
まちの魅力向上